

株式会社Olympicグループ

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

2025年7月31日

当社概要

- 株式会社Olympicグループは東京都国分寺市に本社を置き、株式会社Olympicをはじめ31の子会社/関連会社を傘下に置き、小売事業（「食品事業」「ディスカウント事業」および「専門店事業」）を展開しています
- 時代のニーズの変化や地域特性、店舗規模に応じて、さまざまな店舗スタイルを使い分け・組み合わせた、独自の店舗展開を行っています

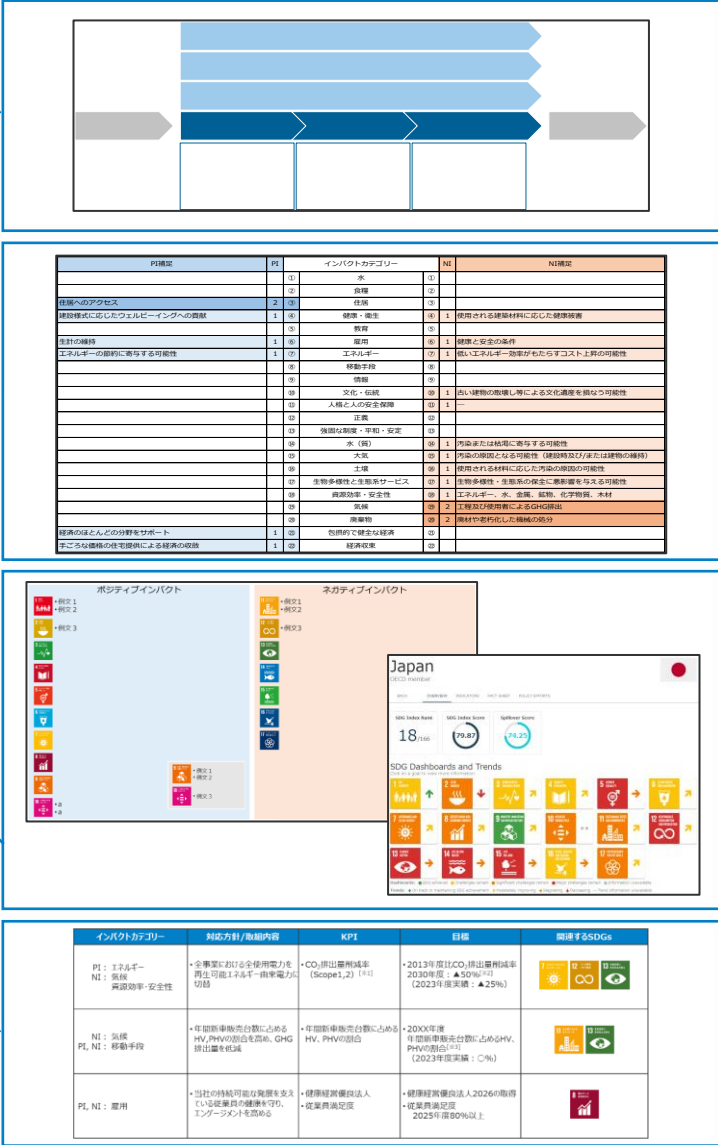
当社概要	
社名	株式会社Olympicグループ
所在地	東京都国分寺市
設立	1973年2月
資本金	9,946百万円
事業内容	持株会社としてのグループ経営活動・管理
営業収益	98,638百万円（2025年2月期）
社員数	1,503名（2025年2月期）
子会社/関連会社	株式会社Olympic 株式会社オー・エス・シー・フーズ 株式会社グー 他



インパクト分析フロー

- 下記のフローで当社グループのインパクト（環境・社会・経済に与える影響）を分析いたしました

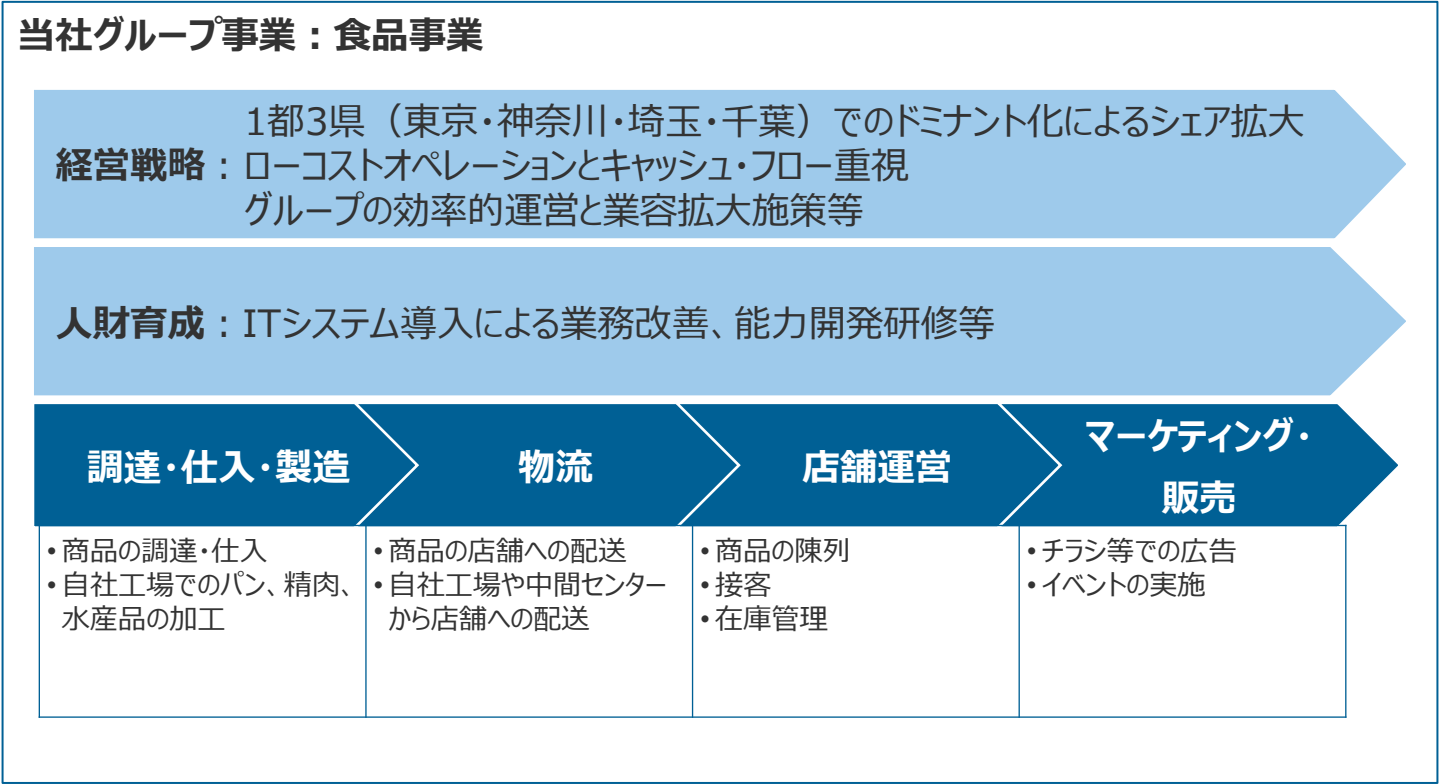
工程		内容
①	バリューチェーン分析	当該事業が経済的価値を創出するに至るプロセス（製品・サービスの構想、製造、提供、消費等）を特定します。
②	インパクトマッピング	国際標準産業分類（ISIC）を用いて、業種別の一般的に想定されるポジティブ／ネガティブインパクトを確認します。
③	インパクトの特定	上記①②及びヒアリング結果等から当該事業のインパクトを特定の上、SDGs等社会的な要請との整合を確認します。
④	KPI・目標の設定	ポジティブインパクトが増大する、あるいはネガティブインパクトが抑制されるようなKPIと目標を設定します。



バリューチェーン分析（当社グループ事業：食品事業）

- 公表資料ならびに当社へのインタビューから、当社グループの小売事業のうち、食品事業をバリューチェーン*分析の対象としました

*当社グループの事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ



インパクトマッピング (当社グループ事業：食品事業のうち①食品小売)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：食品事業のうち①食品小売
⇒ ISIC：4711 食料品、飲料またはたばこが主な非専門店小売業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー			NI	NI補足
		①	水	①		
食料へのアクセスに貢献	1	②	食糧	②		
		③	住居	③		
		④	健康・衛生	④	1	アルコール、タバコ、不健康な食品に関連する病気
		⑤	教育	⑤		
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1	労働環境
		⑦	エネルギー	⑦		
		⑧	移動手段	⑧		
		⑨	情報	⑨		
		⑩	文化・伝統	⑩		
		⑪	人格と人の安全保障	⑪		
		⑫	正義	⑫		
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬		
		⑭	水（質）	⑭		
		⑮	大気	⑮		
		⑯	土壌	⑯		
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰		
		⑱	資源効率・安全性	⑱		
		⑲	気候	⑲		
		⑳	廃棄物	㉑		
健全な経済に不可欠な小売業	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑		
		㉒	経済収束	㉒		

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (当社グループ事業：食品事業のうち②食品製造)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：食品事業のうち②食品製造
⇒ **ISIC：1075 調理食品製造業**

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
食料へのアクセス	1	②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	2 過剰摂取は不健康な食生活を助長する
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働条件
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
文化遺産（ガストロノミー）の保護に貢献する可能性	1	⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	1 汚染の一因となる可能性
		⑮	大気	⑮	
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	1 エネルギー、水
		⑲	気候	⑲	1 GHG排出量
		⑳	廃棄物	㉑	2 工程および老朽化設備から出る廃棄物
健全な経済の一部である製造業	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (一覧)

		当社グループ事業			
		食品小売		食品製造	
インパクトカテゴリー		PI	NI	PI	NI
社会 入手可能性、アクセス可能性、 手ごろさ、品質（一連の固有の 特徴がニーズを満たす程度）	①	水			
	②	食糧	1	1	
	③	住居			
	④	健康・衛生	1		2
	⑤	教育			
	⑥	雇用	1	1	1
	⑦	エネルギー			
	⑧	移動手段			
	⑨	情報			
	⑩	文化・伝統		1	
	⑪	人格と人の安全保障			
	⑫	正義			
	⑬	強固な制度・平和・安定			
環境 質（物理的・化学的構成・性質） の有効利用	⑭	水（質）			1
	⑮	大気			
	⑯	土壌			
	⑰	生物多様性と生態系サービス			
	⑱	資源効率・安全性			1
	⑲	気候			1
	⑳	廃棄物			2
経済 人と社会のための経済的価値創造	㉑	包摂的で健全な経済	1	1	
	㉒	経済収束			

(凡例) PI : ポジティブインパクト、NI : ネガティブインパクト、2 : 影響大、1 : 影響あり、空 : 影響なし

SDGsとの関連性（当社グループ事業：食品事業のうち①食品小売）

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：食品事業のうち①食品小売

⇒ ISIC：4711 食料品、飲料またはたばこが主な非専門店小売業

ポジティブインパクト



- 食料へのアクセスに貢献



- 健全な経済に不可欠な小売業



- 生計の維持
- 健全な経済に不可欠な小売業

ネガティブインパクト



- アルコール、タバコ、不健康な食品に関連する病気



- 労働環境

SDGsとの関連性（当社グループ事業：食品事業のうち②食品製造）

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：食品事業のうち②食品製造

⇒ ISIC：1075 調理食品製造業

ポジティブインパクト



- ・食料へのアクセス



- ・健全な経済の一部である製造業



- ・生計の維持
- ・健全な経済の一部である製造業



- ・文化遺産（ガストロノミー）の保護に貢献する可能性

ネガティブインパクト



- ・過剰摂取は不健康な食生活を助長する



- ・汚染の一因となる可能性



- ・エネルギー、水



- ・労働条件



- ・エネルギー、水
- ・工程および老朽化設備から出る廃棄物



- ・GHG排出量

KPI・目標の設定について

- 以上のような分析結果を基に、インパクトマッピングにより特定されたインパクトについて、当社グループが定めるサステナビリティへの取組み等との整合性を踏まえ、KPI・目標を以下のように選択し、設定しました
- 目標年度及び目標値の設定、KPIの実績進捗については年次モニタリングで確認します

インパクトカテゴリー	対応方針/取組内容	KPI	目標	関連するSDGs
PI: 食糧 包摂的で健全な経済	• 商品構成の見直しを伴う売場の改装 • 地方フェアの充実 • 病院・老健施設・保育園への栄養と安心安全を大事にした献立の提供	• 客数（全店）	定性的な目標としてモニタリング	
NI: 水（質） 資源効率・安全性 廃棄物	• 食品リサイクルの実施（主な対象は生鮮廃棄物、魚のあら、肉脂、廃油）	• 食品リサイクル率	定性的な目標としてモニタリング	

（凡例）PI：ポジティブインパクトの拡大、NI：ネガティブインパクトの抑制



ご留意いただきたい事項

- 本評価書の内容は、あおぞら銀行がその裁量により信頼できると判断した現時点で入手可能な公表資料や借入人へのヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估し作成されたものですが、あおぞら銀行は、当該情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について表明または保証するものではなく、当該情報を使用した結果について一切の責任を負いません。
- あおぞら銀行は、法律、会計、税務等の専門的資格を求められる内容に関しアドバイスを行う立場にありません。これらの専門的内容等につきましては、独立したそれぞれの専門家にご相談願います。
- 本評価書に係る一切の権利はあおぞら銀行が保有しています。本評価書の全部または一部をあおぞら銀行に無断で複製、翻案、改変等することは禁止されています。